

ご挨拶

日頃より、本学の教育・研究活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

本誌では、平成29年度に予定しておりますFD活動についてお知らせするとともに、平成28年度に実施いたしましたFD活動のご報告をさせていただきます。

本学の教育力向上のため、今後とも一層のご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

自己点検・評価実施委員会 委員長
磯 水絵



(C) 2016 Eri Takeda (無断転載禁止)

■ 平成29年度活動計画(案)

教員対象FDアンケートにおいて、『組織的FD活動として今後取り組むべき事項』として希望の多かった、『FD講演会』、『公開授業(授業参観)』、『ラーニング・commons、Live Campusの利用方法の説明』に基づき、下記のイベントを予定しています。

▶ FD講演会(※組織的なFDとするために、各種委員会と協働して)

(講演内容例: GPA・ループリック・シラバス・障害者支援・入試分析・外部環境・入試制度・ハラスメント・大学評価・ラーニングcommons・学会参加報告会 等)

ご要望のテーマを、
随時募集しています!

▶ 各種会議等の活動報告

現在、教員間で実施されている、教育改革に関するプロジェクト・基礎ゼミ会議・語学会議・学科会議等をFD活動として位置づけています。

▶ 公開授業

昨年に引き続き、春semesterの特定期間に、先生方の公開授業を実施する予定です。

■ 平成28年度FD活動実施報告

本学で、平成28年度に実施したFD活動は下記のとおりです。

- FD講演会
- 公開授業
- 学生の実態・満足度調査
- 学生による授業アンケート
- 教育改革に関するプロジェクト
- 大学教育学会への参加

★教育改革に関するプロジェクト（平成25年度より実施）★

↓平成28年度活動状況は下記のとおりです。

平成29年 3月 4日 文学部基礎ゼミFD

平成29年 3月15日 中国語FD

平成29年 3月15日 英語FD

平成29年 3月21日 国文学科FD研修会

参加日	大会名称	会場	参加者
平成28年 6月11日	大学教育学会第38回大会 「伸びる大学の教育力ー成果を出せる大学にはどのような教育力が必要なのかー」	立命館大学 大阪いばらきキャンパス	五月女 肇志 教授
平成28年12月 3日	大学教育学会課題研究集会 「学生はいかに学んでいるのか」	千葉大学 西千葉キャンパス	佐藤 晋 教授

◆平成29年度 第39回大会統一テーマ「教養教育の再考」は、
広島県で開催されます！



Pickup!!

■ 平成28年度FD講演会

3回のFD講演会を開催しました。

平成28年 7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ➤本学の課題と取組みについて (二松学舎大学 菅原 淳子 学長) ➤私学経営環境と二松学舎大学 (二松学舎大学 水戸 英則 理事長) ➤大学教育学会参加報告 (二松学舎大学 文学部 五月女 肇志 教授)
平成28年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ➤文学部主催FD講演会 「アクティブ・ラーニングは授業改善を進めるか」 (山形大学地域文化学部教授、FDネットワークつばさ議長 小田隆治氏)
平成29年 2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ➤本学におけるアクティブ・ラーニング 導入効果予測と若干の導入事例 (兼 大学教育学会2016年度課題研究集会参加報告) (二松学舎大学 国際政治経済学部 佐藤 晋 教授) ➤視覚障害学生の授業支援について (筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 講師 宮城 愛美氏)

今後の本学の教育活動に役立つ、貴重なお話でした。
ご講演いただいた先生方、ありがとうございました！



■ 平成28年度 公開授業

≪公開期間≫ 春semester 平成28年 6月20日(月)～ 7月 8日(金)
秋semester 平成28年11月21日(月)～12月 3日(土)

≪公開状況≫

公開時期	公開科目数	公開コマ数
春semester	11	12
秋semester	12	13
計	23	25

担当教員が所定の期日までに届け出た科目を公開授業としました。



参観された先生からのコメントの一部をご紹介します。
公開・参観された先生方、ご協力ありがとうございました！

アクティブ・ラーニングを 実践している授業について

アクティブ・ラーニング形式(班別話し合いと発表)で、受講生の授業参加態度(程度)について注目したが、かなり前向きに話し合いに参加しており、この形式の授業に慣れていると感じた。

受講生の提示した「論点」の多くは、体験べったり型や感想?型を超えていた。この点からも「班別話し合い」導入の可能性を探ってみたい意欲が湧いた。

<遊ぶ>というテーマがユニークで応用範囲もあり、よいと感じた。グループワークにおける工夫を、自分が担当する基礎ゼミ等でも参考にしたいと思った。

今日の講義のポイントを明確に示して授業を始めている点は参考になりました

関連資料から図版としてコピーし、ビジュアルで学生に印象付けようとしている点はぜひ取り入れたいと考えている。

通年目標(4つ)があるのは良い

六法を開かせ、関連法律を探させる。(しゃべっていた学生も静かになる)
学生に、「皆さんだったらどのような判断をするか考えてみて」と具体的な事例を挙げて問いかけたこと(配布資料の判例を使用して説明)

授業上の工夫 等について

(学生による)板書をカメラで記録していた。

板書の代わりにパソコンの画面を使用するのは、漢字などを忘れてしまう心配がなく有効な方法と考える。字の巧拙を気にしなくて済むのも良い。

前方の机で出席カードリーダーを通し、レジメと出席用紙を受け取る出欠確認の仕方はよいと思った。

講義の内容をセッション・ニュースとして作成・発表させるという方法は大変効果的な復習のやり方と思う。

※上記コメントは、「公開授業を参観されて参考になった授業上の工夫や、今後のご自身の授業改善に向けてのご感想などを記入してください。」としてご提出いただいたものです。



■ 各種アンケートの実施

●学生による授業アンケート

(春semester:平成28年 7月実施)

(秋semester:平成28年12月実施)

学生への教育効果を確認することにより、授業のより一層の向上と、改善をはかるための一助としていただくことを第一義として、semester毎に実施しています。

平成28年度からは、アンケート結果の組織的活用の一環として、担当教員のコメントの提出をお願いしました。今後は提出率の向上及び提出されたコメントの活用方法を検討し、アンケート内容、実施方法等を改善していきつつ、更に授業に効果的な仕組みを構築していく活動を継続していく予定です。

◆コメントシートに記載された内容を事項別に整理し、集中度合の高かった記述内容を集約したものをご紹介します。

- ・授業時間外学習(予習、復習、課題、関連文献の読書などに要した時間)が思っていたより少ない。課題の分量を増やす予定である。
- ・集中力の続く時間が40分から1時間前後とわかったので、対応を考えたい。
- ・板書についての指摘があった。今後、工夫(注意)したい。
- ・配布資料の分量や配布方法については、自身の意図もあるため、今後、工夫しつつ検討したい。
- ・私語への対処について、授業環境の維持に努めているつもりだが、まだ足りないようだ。
- ・コンピュータ教室の環境など、本学の施設・設備に不具合(不足)を感じる部分があるので、対応願いたい。

など

授業アンケートの集計結果(概要)は『二松学舎大学 年報』で、科目毎の集計結果(詳細)は『学生による授業アンケート結果』(冊子)として、図書館で閲覧することができます。

●学生の実態・満足度調査 (平成29年1月実施)

1年生、3年生の学生を対象に、学生の生活、本学の教育、施設・環境等に関する課題についてアンケートを実施し、1,050名から回答を得ました。今後、アンケート結果を大学の自己点検に活用していきます。

～刊行にあたって～

本学では、これまでににおいても、「自己点検・評価運営委員会」・「自己点検・評価実施委員会」・「文学部」・「国際政治経済学部」と、それぞれが主体となり、FD活動として、各種講演会、科目担当者会議等を実施してまいりました。

FD活動の実施については、本学HP情報公開欄に、「FD(Faculty Development)活動」のページを設け、講演会情報を逐次追加、公表しています。また、この「FDニュースレター」は、FDに関する情報を取り纏め、先生方と情報を共有することにより、本学のそれぞれの活動を組織的なものへと発展させるための一助として、今後も発行していく予定です。

毎度のお願いとなりますが、より効果的なFDの推進には、先生方の能動的な参加が必須となります。FDに関するご意見・ご要望は、自己点検・評価実施委員長、大学改革推進課までお寄せください。



【執筆責任】 自己点検・評価実施委員会
【お問い合わせ先】 二松学舎大学 大学改革推進課
TEL: (03)3261-1285 FAX: (03)3261-7413
E-mail: gakumu@nishogakusha-u.ac.jp